

波紋

1994 8 第110号

中国四川省産業視察

6月26日、名古屋空港出発・上海経由で、四川省の省都『成都』へ6泊7日間の視察旅行でした。

上海は2度目で、昨年11月29日に行った時は、地下鉄はまだ出来ていなかったタクシーも軽四型のワンボックスでしたが、今回、私の目に入ったのはVW社の乗用車がほとんどでした。半年間ですごい発展振りですね。

有名な浦東地区を見学して来ましたが、第二上海空港を造る計画や、広大な土地を開発分割して、外資を待っていました。土地は、50年間借りて坪13,000円の賃貸料だそうです。50年間分ですよ、安いね。名古屋市内の詰ぐらいかな……。

上海は、38～39℃で名古屋より暑く、蒸し風呂状態でした。気温が38℃を越える予報が出ると、工場は休みです。クーラーの付いている工場は無い。第一に、電気が少ない様子でした。森松が中国に進出する場所は、上海より北の天津より南の位置にしましょうね。

名古屋→上海は、2時間15分。上海→成都是、約3時間かかります。2000kmの距離があり、四川省の省都「成都(チョンドウと発音)」まで遠い事。中国は広い。パンダと四川料理(麻婆豆腐が有名)の故郷で、2300年の歴史を持ち、三国志の舞台で馴染みが深い古都である。劉備玄德、諸葛孔明の名前は知っている方も多いでしょう。それに、中国の詩聖として李白と並び称される唐代の詩人・杜甫が住んでいた杜甫草堂があります。私も、黒川ビニール・土田社長と一緒に見学に行ってきた。

成都市内6軒のプラスチック会社を視察して、最後6軒目にウェルダー加工会社を訪問する事が出来ました。高周波加工機の事を中国では『高頻熱合機』と表します。出力3kwでダブルの加工機が10万円で手に入るそうです。平均賃金は月給300元(1元は12円)です。

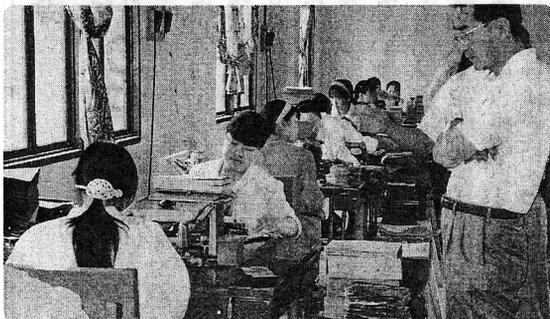
国営企業あり個人企業あり郷鎮企業あり、色々あって良く分かりません。1回や2回の訪問では、理解出来ない国柄ですね。年内に四川省から同業の方が来社される予定です。楽しみに待っていて下さい。続きは、次号で報告致します。

近い内に又、中国へ行きます。一緒に行きませんか？

森 信 之



6月28日 四川省投資フェア一開会式の様子



6月30日 従業員数30名、成都市内のウェルダー工場

トシ君の一方通行

「挨拶」

骨折って良かったのは、翌日の天気分かる事。足首がジクジクしたら翌日は雨。何か得をした気分。これ明るい考え。痛い、痛いとジクジクしていたら、暗い考え。家に帰り「今日も疲れた」というのは暗い言葉。「今日もしつかり働いた」というのが明るい言葉。下を向いて小さな声でボソボソは暗い態度。不思議なものでボソボソやられると、たとえそれが正論であつても否定したくなる。通る声で明るく言われると、真剣に聞こうという気になる。

我が家では、自宅に戻ると取り敢えず大きな明るい声で「ただいま！」と言う。あちらも負けずに大きな声で「お帰り！」と言う。家を出る時は、「行つてきます！」と言い、「行つてらっしゃい！」と言う。

ごくごく当り前の事が何故会社で出来ない人がいるのだろうか。明るく挨拶をするのと得をするのは挨拶をした方なんだけだ。挨拶すると損すると思つているからな。下向いて、いやいや小さな声でするのは自分を不快に追い込むだけだよ……。

まあ勝手にしなさい！ 回りに人が集まらないだけだよ。



木村 英利

森松クインテット

「十年一昔」

6月30日の誕生日で、私も人生の節目を迎えたわけですが、今年の誕生日は特に印象深く、10年先でも思い出さずことでしょう。というのには、皆さんも御承知の様に、この日の前後、歴史的な事が起きたわけで、前は47年振りの社会党首相誕生であり、後はM社との取り引き開始であります。いずれも、一昔前では考えられなかった事でありました。

何が起るか分からないのが世の常で、現在の私自身を考えても、10年前には思いもよらなかった事もあつたりして、良いのか悪いのか、あつという間にここまで過ぎてしまいました。

この先10年して、果たして自分がどうなつていいのか、10年経つてみないと分かりませんが、大きく環境が変化しているのは確かです。いつでも夢を持ち、悔いの残らぬ様、又皆に好かれる様、一生懸命生き、10年後を迎えたいと思つています。

ここに来て益々の円高等、この先、日本も又、会社も変わらざるをえない状況になり、我々もこれに左右されるに違いありません。どんな状況にも対応すべく、心構えが必要だと感じていきます。



山口 隆弘

喜怒哀楽

「海が好き」

暑中お見舞い申し上げます。

今年は空梅雨で雨も少なく暑い日が続きますが、皆さんはどうお過ごしですか？私には海の近くに住んでいるので、休日のほとんどは海へ行き、マリンスポーツやバーベキューなどをして楽しんでいきます。

昨年までは3〜5人で海へ行つていたのですが、今年から海大好き仲間（森松社員及びその友人）が増えまして、皆で真っ黒になりながらワイワイ、キャーキャーと、それは楽しい休日をお過ごししております。

海が、社内でもあまり話をしたことのない友人との出会いの場になっていきます。

まだまだ暑い日が続きますが、皆さんも暑さに負けず夏を乗り切つて下さい。

岩間 正美



上段右端 岩間課長

暮らしのエッセイ

「夏」

夏。夏と言えは……。

皆さん、色々な事を連想すると思います。僕は、夏と言えはやっぱり海とお祭り。そして食べ物かな……(?)

海は、子供の頃から大好きで、今でも泳いだり、皆でバーベキューや釣りをしたりします。

お祭りも、これまた子供の頃から大好きで、出店や花火、大阪の方では山車やお神輿などが沢山あり、これを見るのが好きです。

話は変わり、僕は夏になっても食欲が増す一方で、夏にはむしろ太る方ですので気を付けます。

会社で僕が「暑いなあ」と言うと、僕の隣に座っている上司が、「夏だから当たり前だがやあ」とよく言われるので、これからは言わない様にします。

僕が名古屋に来て二回目の夏。

昨年は何も出来ませんでしたので、今年は夏にしか出来ない事を色々やろうと思います。

P.S

皆さん、冷たい物を食べ過ぎない様に……。



金子 清道

ニコチャン投書箱

今月のニコチャンは……

宮本昌俊さん、長沢三三三さんに

決定しました。

森松産業の二人の男性パート（職人さん）を紹介します。

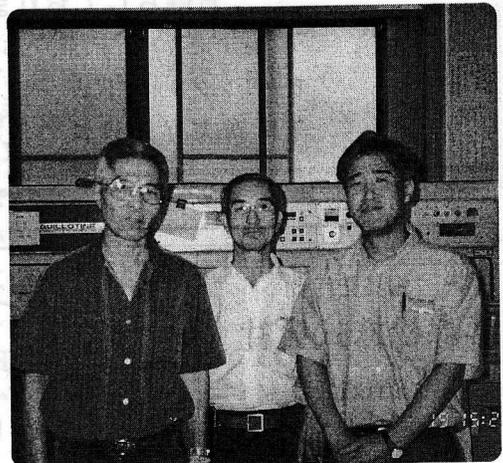
宮本さんは、森松入社以来プレス機一筋で15年のキャリアを持つ大ベテラン。現在も3・5号プレス機を担当してくれています。無口で多少頑固な性格ではありますが、プレスの仕事を任せたら彼の右に出る人は居ないくらいの技術で、完璧な仕事振りを発揮してくれています。

もう一人の職人は、長沢さんです。機械でカット出来ないサンプル等を手加工で見事にサイズ通りの注文に答えてくれます。延反台のビニールがまるで魔法にかかったかの様に仕上がっていきます。

二人共森松の製造部にとっては、なくてはならない存在であります。仕事に対して真面目で積極的に取り組む姿勢は、我々森松の若い人達も見習う事が多々あると思います。

これからも技術指導宜しくお願い致します。無理も言いますが……。

推薦者 田井村 俊秋



▲左より 宮本さん、長沢さん、田井村次長

森松産業事務所が 本社に移転しました

7月2日、梅雨の季節とは思えない程よく晴れた、とても暑い日に、森松産業事務所の引越しを行いました。

およそ2年振りに本社に戻った訳ですが、昨年入社した私にとっては未知の世界。まだ分からないこともいくらかありますが、どんな新しいことに出会えるか楽しみな毎日です。引越しには沢山の方にお手伝い頂き、ありがとうございました。

尚、森松産業事務所電話番号は以前と変わらず612-6336、要工場は612-9288となりました。何卒よろしくお願致します。

谷口 香

平成6年 8月の社内行事

1日(月)	編集会議 17時50分
2日(火)	若手サークル会 18時
3日(水)	誕生会 12時 4F
5日(金)	大里朝美さん誕生日 新規開拓部隊会議
6日(土)	第一土曜日休み 17時50分
8日(月)	中嶋一美さん誕生日
10日(水)	松本美代子さん誕生日
11日(木)	夏期休暇
14日(日)	福重貞子さん誕生日
17日(水)	改善委員会 18時
20日(土)	第三土曜日休み
21日(日)	後藤貝崇さん誕生日
22日(月)	生産会議 18時
25日(木)	経営会議 15時10分
26日(金)	営業会議 17時
26日(金)	造集団会議 18時
27日(土)	新規開拓部隊会議 17時50分
27日(土)	キックベースボール大会

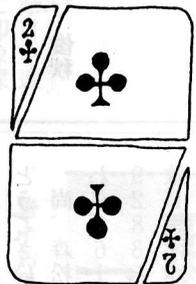


クイズコーナー

大変発表が遅くなりまして申し訳ございません。

〈5月号の答え〉

クラブの2、一枚だけ。



※正解者の方には、商品の発送をもって発表にかえさせて頂きました。

「元気が出る森松展」

新鮮情報100%であなたの感性を刺激します!!

第2回モーリンググループ新商品の展示会を下記の日程にて開催します。

会期 1994年9月8日(木)～9日(金)
A.M.10:00～P.M.5:00

会場 森松(株)本社ビル5F

日頃、御愛顧頂き有難うございます。

今年もまた、関連会社の御協賛を得まして、
新商品の展示会を開催致します。

必ずやお役に立つ新鮮情報を多数揃えて
お待ちしております。

何卒、ご来場下さいます様、お願い申し上げます。

モーリンググループ代表 森 信之
森松展実行委員長 牧 野 光 昌

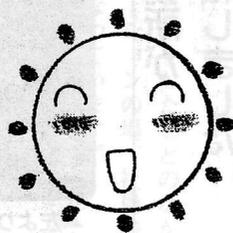
編集後記

昨年は、長雨で冷夏。今年には、高温と水不足で、農家は日照りのお陰で今から不安の中にいる。

節水の節水で、学校給食が出来ずに牛乳一本になったところも……。

深刻な水不足。水は誰でも利用するので、皆で節約しましょう。

松井 宣和



編集発行者
森松株式会社

発行責任者
高橋 武夫

平成6年8月1日
第110号